



# 日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

96.11.15 No.4500

## 来年5月米軍基地の土地使用期限切れに向けて沖縄からの決意

### 10集会報告之

・ 有銘政夫議長  
・ 違憲共闘会議



本年、四月十五日大阪、四月十六日東京に全国のみなさんが集まったことは、私たちに勇気

反戦地主  
・ 知花昌一さん

四月からの「象のオリ」に対する闘いを皆さんと共に闘えた。国は、八カ月私の土地を不法占拠している。日本政府は、普天間基地を返すと言っているが、全くのペテンである。地上では受け付けられないから海上へリポートを作ろうとしている。その移転先と言われている金武湾では、地元勝連町をはじめ闘いが盛り上がり、一千隻の海上デモが行われようとしている。また、嘉手納町、北谷町でも基地反対の闘いが闘われている。

と力量を与えてくれた。

沖縄の基地問題は安保の問題だ。四月十七日、日米で話し合われた問題は、重大な問題であり、アメリカの世界戦略に日本がすっぽりと包み込まれるということだ。安保の再定義は、安保のグローバル化と日本の民間施設、空港・港・鉄道を有事の際には、すべて使用される危険な内容となっている。

一九七二年に沖縄が日本へ返還され、米軍基地は六〇％削減されたが、米軍基地は沖縄に集中した。全国の七五％の基地が集中した。九月の少女暴行事件をキッカケに沖縄が起ち上がり、日本に波及し、全国各地で闘いが盛り上がり、その内容が暴き

だされた。沖縄が提起した基地の問題は、沖縄だけの問題ではなく、日本の問題である。

われわれの闘いは、始まったばかり。来年三〇〇〇名・十二基地にわたる土地使用の期限切れ、収用委員会の公開審理が始まる。反戦地主を先頭に、収用委員会での実質審理を打ちと、不法・不当を暴いていく。この闘いは、復帰闘争に優るものとなる。知花さんの土地に対する不法占拠について、収用委員はかなり真面目に審理した。来年一月から収用委が行われる。沖縄基地問題は、一月に大きなキッカケを迎える。一月からの闘いに大きな関心をもってもらいたい。また、橋本内閣に対する闘いを全国各地で闘おう！労働運動に対する圧力をはねのけ闘おう！環境問題やさまざまな闘いを闘っていきましょう！少数派であった反戦地主が大儀を掲げて

れから始まる。私たちは、今年四月を上回る闘いを全国に呼びかけていきたい。

来年五月沖縄基地の三千人の土地の使用期限が切れる。収用委員会が公開審理をまともにやれば、一年以上かかる。一月から始まるようになっているが、使用期限は五月十五日である。全ての基地で「象のオリ」の闘いが



一坪反戦地主  
・ 崎原盛秀さん

開始されようとしている。政府は、私の一筆の土地に対し、一〇〇〇名の機動隊を配置し、不法占拠を行った。全ての基地で不法占拠となったら、機動隊も対応できない。

反戦地主が闘っているように、私たち一坪反戦地主も基地の土地を生活と生産の場へと取り戻すために闘っていききたい。沖縄の基地は、中東・ベトナム・朝鮮への侵略戦争の出発点となった。基地を平和な土地として取り戻すために闘っていききたい。日経・読売新聞、文芸春秋に「一坪反戦地主は、イデオロギ―集団、沖縄では極少数であり、本土が多数である」という事実とは違う犯罪的な報道を行っている。

二面に続く

安保・沖縄 国鉄闘争の勝利をめざす

### 10全国労働者総決起

第三次安保、沖縄闘争を実現し、米軍基地撤去、ガイドライン有罪立法を廃止しよう！ 国防法団体適用を廃止しよう！ 正念場の日鉄闘争に勝利し、労働運動の未来を切り拓こう！ 行革、第1期閣内閣、第2期閣内閣、大蔵省切り取り攻撃、岸山理別裁判の再審をせよ！ 侵略と反動の根本政權打倒！ 闘おう！

闘いぬくことによって少数派が少数派でなくなつた。大儀・正義を掲げて闘いぬこう！

# 来年五月基地の 土地使用期限切 れに向けて沖縄 からの決意

一面より続く

の国会議員もいれば、県議、市議、町議、村議もいる。マスコミもいる。マスコミで関わっている人たちは、「一坪反戦地主であることを誇りにします。」と言っている。私たちは、これから司法・立法・行政に対しての闘いを挑まなければならぬが、反動マスコミが国を後押ししているのだ。

司法との闘いという点では、伊江島の反戦地主・阿波言さんの重課税裁判がある。契約地主（基地に土地を提供している地主）と反戦地主とは、土地に対する課税に倍以上の差がある。一番の那覇地裁では、「同じ基



一坪反戦地主  
・崎原盛秀さん

地の土地として使用されているので差があることは違法」という判決が、福岡高裁那覇支部では、「積極的に土地を貸している契約地主といやいや使用されている者とは、差がついても仕方ない。」との判決が出された。また、嘉手納町の人々が、一九四三年に日本軍によって土地を強制的に取り上げられ、その後米軍に占拠された土地を「自分のものである。」ことを確認しようとして一八年前裁判をおこしたが、裁判所は「その土地は、国有地だ。」としてきた。まさに、沖縄いじめに他ならない。

この県民投票について、大きな問題となったのは、基地労働者の問題である。基地が無くなれば職が無くなるということはどう解決するのか。という問題であった。基地労働者は、苦悩・苦闘した。私たちは、基地撤去と雇用確保は矛盾しない。雇用確保の責任は日本政府の責任であることを訴えてきた。県民投票に際し、指導部自身がどういう方針を出すのか問題となった。

九月八日県民投票は、自分の未来は自分で決めるということを示した。県民の九割が基地に反対している。

この県民投票に際して、大きな問題となったのは、基地労働者の問題である。基地が無くなれば職が無くなるということはどう解決するのか。という問題であった。基地労働者は、苦悩・苦闘した。私たちは、基地撤去と雇用確保は矛盾しない。雇用確保の責任は日本政府の責任であることを訴えてきた。県民投票に際し、指導部自身がどういう方針を出すのか問題となった。



後永久に解決出来ない問題となる。③基地撤去と沖縄振興策は別問題であり、基地があるからこそ沖縄の振興が妨げられている。ということではないか。

われわれは、大田知事が歴史に残るような政治家として頑張ることを願っていた。基地労働者の問題同様、指導部の問題である。普天間基地の移設、海上ヘリポート問題などについて、地元各団体が県に抗議に行くこと、県では事情は全く解らない。基地の問題は、橋本一・大田会談以降、後は橋本首相の問題であると決め込んでいる。ベトナム戦争が終了してから沖縄県はベトナム訪問団をベトナムへ送った。その当時、ベトナムは、戦争の傷跡で月のクレターのような言われたと聞いている。日本からの訪問だと聞いてベトナムの人は、顔をこわばらせていたが、沖縄からだというと笑みを浮かべ、手を衣服にこすりつけ、きれいにし、握手を

求めてきたという。そして、「今日はB52が来ない。沖縄の人が、B52闘争を闘っているのだ。」と感謝していたそうである。

われわれは、日本の朝鮮侵略戦争を許してはならない。来年の五月に向け、共に頑張ろう！

